

愛するこの世を
信ずることの静かさ
生きて働く愉しさを

泥かぶら

作・演出 眞山美保



令和5年度『泥かぶら』刈谷市内全中学校芸術鑑賞会

5月17日(水)・18日(木)・19日(金)

◇午前の部 9:30 開演 ◇午後の部 13:50 開演

会場：刈谷市総合文化センター アイリス (大ホール)

文部大臣
奨励賞受賞

上演回数
15000回突破

観客動員数
1000万人突破

近年の公演実績

- ◆令和2年
文化庁「次の担い手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」
『泥かぶら』9都市11ステージ
- ◆令和3年
文化庁「ARTS for the future!」
『野盗、風の中を走る』東京：成城ホール
『泥かぶら』岐阜県各務原市・村国座
- ◆令和4年
文化庁「ARTS for the future! 2」
眞山美保生誕100年記念公演
『愛と平和への祈りをこめて』4都市5ステージ

上演ご希望の方へ

- ◆対象：小学校高学年～一般
- ◆上演時間：2時間10分(休憩2回含む)
※短縮して1時間45分(休憩1回含む)も可能です。
- ◆会場：劇場・講堂・体育館
- ◆仕込み時間：4時間～5時間
- ◆上演料：お気軽にお問い合わせください。お見積りいたします。

劇団 新制作座

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町2-1419

tel.042-661-0001 fax.042-661-6702

e-mail: info@shinseisakuza.com

http://www.shinseisakuza.com

出演

泥かぶら……………岩坪成美・齊藤舞夕
こすえ……………みやちとも
老爺／太郎兵衛……………林周一(風祭タスエ)
次郎兵衛……………眞山蘭里
惣兵衛……………藤間亮
三郎兵衛……………合田篤慶
中年の女……………清水いつ陸(魁スヘア)
梅吉……………中井響子
童……………木村幸子・中井響子

スタッフ

作・演出……………眞山美保
補綴演出……………小津和知穂
舞台監督……………山形久人
舞台監督助手……………亀川忠助・かとうしほ
照明……………(株)MOONLIGHT
音響……………斉藤平
制作……………中込遊里(一般社団法人AsNo)



ものがたり

ひとりぼっちの、醜い女の子。
「泥かぶら」(泥まみれの大根)と呼ばれて、
村の子どもたちにも嫌われている。

今日も、
この醜い汚い顔のせいでひとりぼっち。
ギスギスした毎日をおくる
泥かぶらのもとに、
ある日、どこからともなく
旅のおじいさんがやってくる。

「きれいになりたい」と
泣いて訴える泥かぶらに
おじいさんが教えた、
きれいになるための3つのこと。

泥かぶらは、
この出会いをきっかけに、
成長の第一歩を踏み出す。

泥かぶらは、私たちに問いかける。

美しさとはなにか。
豊かさとはなにか。
生きる力とはなにか。



自分の顔を恥じないこと。

どんな時にもにっこり笑うこと。

人の身になって思うこと。

「あいさつ」

幼い頃の私は「泥かぶら」を観て深く感動し涙を流しました。誰にも言えない辛さを受け止めてくれた、かけがえのない物語です。(74歳女性)

半世紀を過ぎて届くお手紙には、溢れる感謝の気持ちと、コロナ禍でも「泥かぶら」は負けないでほしいとありました。

この3年間、私達は何度も負けそうになり、何度も弱音を吐きました。
けれど、「人々の中で人々と共に！日本中が私たちの劇場！」という新制作座のあゆみを、73年の長きにわたって支えてくださった大衆の友情と愛の力に守られてきました。

殊に、愛知県は、新制作座1950年の

旗揚げの地、1952年眞山美保の処女作「泥かぶら」初演の地です。熱い志を持った若き教育者・経営者・諸先生方が、「泥かぶら」を育ててくださいました。そして日本全国へ、その旅は始まったのです。

2023年「泥かぶら」は、新たなキャストイングで公演を再開いたします。上演のお申込みを心よりお待ちしております。

コロナ禍で、あらゆる制約も我慢し自制して頑張ってきた皆さんへ
いよいよ開幕です。やっと会えますね、心の底から笑い声を響かせ語り合い輪になりますよう！泥かぶらの合言葉を贈ります。「じゃあ、あした〜！」

新制作座